

## 平成27年度11月補正予算案のポイント

### 《補正予算案の特色》

- 世界水準の山岳高原観光地を目指す長野県として、「長野県登山安全条例」の制定や「国民の祝日『山の日』記念全国大会(仮称)」の開催により、本県の強みである「信州の山」の多様な価値や魅力をさらに高め、国内外に向け強力に発信します。
- 障がい者等が安心して生活できる福祉のまちづくりの推進に向け、「長野県福祉のまちづくり条例」を改正し、「信州パーキング・パーミット制度」の導入等に取り組みます。
- 社会全体で子育て世代を応援するため、民間事業者と連携し、「子育て支援パスポート」を拡充します。
- 春夏の観光シーズンに向け、安全で快適な道路環境を確保するため、冬期間に傷んだ道路舗装等の修繕を前倒しして実施します。

### ◎ 補正予算額

1億4021万4千円

(債務負担行為 37億1814万5千円)

※ [ ]は成果目標

### ◎ 「信州の山」の魅力発信と安全対策

#### 新 「信州の山」の魅力発信・安全な登山の普及推進

128万4千円 <観光部>

「長野県登山安全条例」の制定を周知し、「信州の山」の魅力を発信するため、県内外に向けた効果的な広報を実施するほか、登山を安全に楽しむためのガイドラインを策定

- ・ポスター、リーフレット等による広報
- ・登山を安全に楽しむためのガイドライン検討委員会の開催  
〔ガイドライン検討委員会の開催：2回(平成27年度)〕

#### 「国民の祝日『山の日』記念全国大会(仮称)」を通じた「信州の山」の価値発信

1178万円 <林務部>

平成28年8月に松本市上高地で開催される「国民の祝日『山の日』」の制定を記念する全国大会を契機に、「信州の山」の多様な価値や魅力を国内外に向け発信するため、積極的な広報や大会準備に要する経費を負担

- ・事業主体：第1回「山の日」記念全国大会実行委員会(仮称)  
〔大会実施計画の策定(平成27年度)〕

## ◎ 障がい者等にやさしい社会づくり

### 福祉のまちづくりの推進

334万1千円 <健康福祉部>

障がい者等が暮らしやすい環境づくりを推進するため、「長野県福祉のまちづくり条例」の改正内容の円滑な実施に取り組むほか、障がい者等用駐車区画の適正利用を促進する「信州パーキング・パーミット制度」を新たに導入

- ・条例改正の内容等を周知し、福祉のまちづくりへの理解を促進するパンフレットの作成
- ・障がい者等に一層配慮した新しい施設整備基準に基づく設計マニュアルの作成
- ・「信州パーキング・パーミット制度」の利用証や施設用ステッカーの作成、協力施設の登録〔「信州パーキング・パーミット制度」協力施設数 800施設（平成28年度）〕

## ◎ みんなで支える子育て安心県の推進

### 「子育て支援パスポート」の拡充による子育て支援の充実 998万6千円 <県民文化部>

子育て世帯の経済的負担の軽減、社会全体で子育てを支援する気運の醸成をさらに進めるため、国による「子育て支援パスポート」の全国展開への参加に向けた協賛店舗の募集や事業の周知等を実施

- ・全国共通マーク入りパスポート及び協賛店舗用のポスター、ステッカー等の作成
  - ・事業案内チラシ等による周知
- 〔全国展開事業に協賛する店舗数 2,000店舗（平成27年度）〕

## ◎ 県民生活の安全・安心の確保

### 道路、河川の復旧

8000万円

<建設部>

台風や記録的な豪雨等により被災した道路、河川の迅速な復旧工事を実施

- ・道路の舗装修繕：83か所、法面補修：3か所
- ・河川の護岸補修：3か所

### 道路の修繕、区画線等の塗り替えの推進（債務負担行為 18億6200万円）

<建設部、警察本部>

春夏の観光シーズンに向け、除雪等により不鮮明となった道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを進めることに加え、冬期の凍結等により劣化した道路舗装の修繕を、工事発注の平準化にも配慮しつつ年度当初に前倒しして実施するため、債務負担行為を設定

- ・道路舗装修繕：年間事業量の7割程度を前倒しして実施

## ◎ その他

### 指定管理者による施設管理費

（債務負担行為 18億4266万5千円）

<県民文化部、健康福祉部>

複数年度にわたり指定管理者を指定する、松本あさひ学園及び信濃学園の指定管理料について債務負担行為を設定

新

### 「全国都市緑化フェア」基本構想の策定

（債務負担行為 847万8千円）

<建設部>

平成31年度に実施される「全国都市緑化フェア」の本県開催に向け、基本構想の策定経費について債務負担行為を設定